

第4号様式（第10条関係）

会 議 録（要 旨）

会 議 名	第2回武蔵村山市長期総合計画審議会
開 催 日 時	平成22年2月10日（水） 午後2時00分～4時30分
開 催 場 所	武蔵村山市役所 301会議室（市役所3階）
出 席 者 及 び 欠 席 者	出席者：磯野会長、諸江副会長、伊豆元委員、井上委員、榎本委員 陰山委員、中澤委員 松田委員、山本委員 欠席者：内野委員 事務局：企画政策課長、企画政策課主査（企画政策G）、同課副主査（同G） コンサルタント（1名）
議 題	1 開 会 2 報告事項 第1回武蔵村山市長期総合計画審議会の会議要旨について 3 議 題 （1）計画策定にあたっての課題について （2）まちづくりの理念について （3）その他 4 閉 会
結 論 （決定した方針、残された問題点、保留事項等を記載する。）	○会議録の取扱いについて ・会議録は要旨記述とし、委員の発言は（委員）として表記する。ただし、議長としての発言については、（会長）又は（副会長）と表記する。 ・第1回会議録については、今週までに意見がなければ確定とする。 ○次回の審議会日程について ・平成22年3月26日（金）午後2時から開催する。
審 議 経 過 （主な意見等を原則として発言順に記載し、同一内容は一つにまとめる。）	1 開 会 （会 長）出席者が過半数を超えているので会議成立であり、これから開催する。せっかくの総合計画審議会だが、傍聴なしというのは少し残念。 2 報告事項 ○第1回武蔵村山市長期総合計画審議会の会議要旨について （会 長）会議要旨については、「報告事項」として良いか、最初なので以下の点について確認しておきたい。 ①説明内容は省略。別途、資料を参照する。 ②内容について同様の意見はまとめて良いか。要約するにしてもすべてを載せるのか。 ③委員名を表記するか、匿名とするか。 （事務局）市の内規に従って作成している。ただし（会長）や（副会長）は個人が特定できることになってしまう。 （会 長）議長職としての発言については特定されても良いのではないか。 （委 員）録音テープなどの扱いはどのようになっているか。 （事務局）会議録をおこした段階で消去している。 （会 長）次のように決定する。 ①内規に従って、発言要旨として取りまとめる。 ②会長又は副会長が議長として発言する場合は（会長）（副会長）と、それ以外は（委員）と表記する。 ③議事要旨について意見があれば、今週中に事務局へ連絡することとし、その時点で確定とする。

3 議 題

(1) 計画策定にあたっての課題について

(2) まちづくりの理念について

(事務局) 今回は重点的な課題がこの6つに集約できるのではないかとということで、点線枠の中はその例示として示させてもらった。

(委 員) この資料に対し、審議会に何を求められているのかがわからない。

(会 長) 色々なレベルの課題が並列させているように見える。例示がピンポイントすぎて、意図がわかりにくくなっている。

(事務局) 市民懇談会等の意見から、おおむねこの6つの課題に集約されそうだという形で整理を行った。このような視点が不足しているなどの意見があればお聞かせ願いたい。

(会 長) 市民懇談会の提言内容をレビューしながら、事務局で斟酌してまとめた内容で良いかという見方が必要か。

(委 員) 今後、市がどうあるべきかということを考えて、歴史や文化の掘り起こしと確認という作業が必要なのではないか。

(事務局) 個別の事項については、基本計画を議題として、来年度、議論をいただく予定である。

(委 員) この資料は、内部委員会での議論を経て提示されたものなのか。

(事務局) 今回の資料は、内部委員会で議論されたものではない。

(委 員) 例えば、残堀川に水がないという状況、まちを良くするために水を引き入れるなどの考えも必要だと思うが、それがこの6つの課題のどこに含まれるのか。

(委 員) 少子化を食い止めるために、何をすれば良いのかという議論を行うという場ではないのか。

(会 長) 6回の会議で何をやるのかというストーリーを示してほしい。

(委 員) この会議の位置づけを明確にすべき。内部委員会から上げられてきたものを諮問するというのではないのか。

(会 長) 単なるお墨付きの会議では良くないということで、事務局レベルで整理したもので、まず率直な意見を聴きたいという趣旨だと思う。

(10分間休憩)

(事務局) 第3次長期総合計画では、課題出しを踏まえて理念、方針を設定しており、時代潮流への対応と本市におけるまちづくりの視点から課題を整理している。市民懇談会では、日常生活をベースに基本計画レベルで議論したものであり、具体性のあるものとなっている。懇談会の意見を斟酌しながら、課題として事務局で整理した資料である。この審議会ではマクロな視点で議論していただきたい。

(会 長) 第3次の課題と比較すると、若干、ニュアンスは異なっている。これをもとに重点課題として何をとり込めば良いのかということになるか。

(委 員) 資料の7ページのまちづくりの理念は、市民懇談会からの答申であり、市としても確認されたものなのか。

(事務局) まだ確認されたものではない。

(委 員) 市民懇談会と審議会、計画策定の関係は。

(会 長) この審議会は、議会承認前の過程であり、最終的には議会が決定する。審議会としては、庁内で検討した内容を審議する方法と、まず審議会の意見を聴いて行政案をつくるという方法がある。審議会答

申→市案→パブコメ→議決という流れになる。

- (事務局) 本来、基本構想の市案を提示して、審議会に意見を求める流れになるが、その前に事務局案に対して御意見を伺い、それを踏まえて市案を作成したいという趣旨である。
- (委員) 理念があって、それに対する課題が一般的ではないか。
- (会長) 課題出しからまず御意見をということなので、そこから進めたい。時代の潮流の中で、市はこのようにとらえたということで良いか。
- (委員) 課題①に学力低下という記述があるが、実際には低下していない。本市の現状に即した表現にしてもらいたい。
- (委員) 少子化が課題なのではなく、将来を担う子どもたちの教育の充実が課題なのではないか。また、外国人の増加についても、異文化交流や国際教育のきっかけとなるのでは。
- (委員) 今あるものをどのように生かそうというプラス思考のテーマでも良いのではないか。
- (委員) 時代の流れを現状としてとらえ、本市の観点から課題を整理する必要があるのではないか。例えば、減少する子どもたちに対し、どのような教育を行っていくのか、本市の資源である水や緑などの自然をどうしていくのかを積極的に打ち出すなど、課題の構成についても前回の形にとられる必要はないのではないか。
- (委員) 例えば野山北・六道山公園は都No.1の公園であり、どう活用していくのか。また、地域の伝統や歴史に光を当て、これらをどういう風に生かしていくのか、もっと前向きなテーマ設定が必要だと思う。
- (委員) 一部の課題だけを取り上げるのは難しい。それぞれの分野において課題があるのではないか。
- (事務局) このような潮流があり、それを踏まえてこういう施策を打つ必要があるといった一連の流れが見えないと、一部を取り出して意見を言うのは難しいのかもしれない。今日のところは、時代潮流なども踏まえた中で、このような課題があるのではという御意見を伺えればと思う。
- (委員) 課題⑤の持続可能な都市づくりの視点が廃棄物や温暖化で良いのか。それよりも本市にとっては、自然や農地をどうとらえていくのかという視点が最も大事なのではないか。理念と結び付く課題の設定をする必要がある。また、本市は交通が大きな問題であり、持続可能な都市づくりとしてどう考えていくのかという課題がある。さらに安全・安心の問題としても本市として何が特に重要なかを市として明確にとらえる必要があるのではないか。そのあたりがないと課題と理念はうまく結び付かないのではないか。
- (委員) 市街化調整区域内農地について、意識調査の中に「農地として使う」という項目がなかったのはおかしい。横の連携によって本市の農業をもっと大切に育てていくべき。
- (委員) 横田基地の軍民共用について、市も賛成の意思表示をしており、このあたりも入れておくべきではないか。新青梅街道の拡幅やモノレールの誘致につながる課題である。
- (委員) 課題が抽象的すぎてわからない。もう少し具体性を帯びないと弱いのではないか。具体的な内容は基本計画の段階で出てくるということだが。
- (委員) 構想と計画でマクロな時代潮流の課題と具体的な本市の課題が分けられているという趣旨だと思うが、それがわかりづらくしている原因だと思う。例えば、コミュニティの活性化ととらえるか、協働のまちづくりという積極的にとらえるかによって表現が異なってく

